

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		こども学習支援センターあいむ塾			公表日	2026 年 1 月 19 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	開所当初より大きく変更はしていませんが、各自の適度な距離感で過ごすことができます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	建物入口にスロープがありませんが、手すりや滑り止めを設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	意見を頂くことで業務の改善に繋がっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	常に職場内で話し合いの場が持たれています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	AED研修、虐待防止研修など定期的に行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	個別支援のため集団活動の場が少ないですが、おやつ休憩や自由時間に集団での活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	支援前に授業内容や気になる様子、日報の編成などの確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	支援後に振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	授業報告書として記録をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		個別支援のため、現状は想定しておりませんが、良い機会があれば活動に加えたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	サービス事業所等連携会議など、積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		連絡帳に支援の内容を記入しておりますが、こどもたちの様子など、より分かりやすく記入するよう努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		ご家族に対してはこれまで個別の相談という形で支援をしてきましたが、研修の機会を設けたいです。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		前年度は保護者会の開催がありませんでしたが、要望を踏まえて開催していきたいです。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	速やかな対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	0	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	各マニュアルをもとに訓練を実施するとともに、事業所入口に閲覧用として設置しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	BCPを策定し、訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	計画の作成および研修・訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	安全計画の内容を事業所入口に常時閲覧可能な状態で設置しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	定期的に研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども学習支援センターあいむ塾		
○保護者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和8年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和8年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感を持って通所できることや、通所を楽しみにしてくれていること、心地よく過ごせる環境など、満足度において高い評価をしていただきました。	こどもたちの特性や理解度に応じ、それぞれに合わせた教材の準備、支援方法を考えています。	それぞれの特性や理解度に応じた教材・支援に加えて、本人や保護者のニーズも踏まえて支援を行います。
2	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか、またこどもの健康や発達について保護者と共通理解ができているかという項目で高い評価をいただきました。	連絡帳のみでなく、行き帰りの受け渡しの際に支援の様子をお伝えしたり、こどもの様子の聞き取りを行っています。	事業所から発行する通信によって、普段の活動をより保護者の方々に知ってもらえるようにします。
3	個人情報の取り扱いに充分留意されていると評価していただきました。	個人情報の取り扱いについては、職員の守秘義務も含め常に意識をして取り扱っています。	ペーパーレス化に伴って、文書を廃棄する際の個人情報保護とデータとしての個人情報保護の両面から取り扱いに注意します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているかの項目において「わからない」の回答が多かったです。	毎年2回の避難訓練を行い、マニュアルの設置も行っているものの、保護者への周知が十分でないことが考えられます。	保護者連絡をLINE利用のものに変更したので、避難訓練の実施やマニュアル設置などを随時発信していきたいです。
2	地域の他のこどもの活動機会や、非常災害時の避難訓練の有無について「分からない」との回答が多かったです。	地域との交流や活動の機会はありませんが、避難訓練については毎年2回行っています。参加児童が限定的なので、訓練自体が行われていることを知る機会が少なかったと思います。	避難訓練の様子などを通信などに掲載してより広く周知したいです。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価結果をこどもや保護者に発信しているかという項目において、20%ほどの「分からない」「どちらともいえない」という評価をいただきました。	現状では、ホームページに事業所案内及び自己評価結果を掲載してはいるものの、通信・SNSは稼働していないため、新しい情報の提供ができていないと思います。	今年度新しく公表した「支援プログラム」はもとより、事業所の通信を発行して、事業所の様子や支援内容、行事などをお知らせしていきます。